

様式第4 (第5条関係)

(その1)

令和8年4月13日

設楽町議会議長

氏名 村松 一徳

令和7年度政務活動費収支報告について

設楽町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり  
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和7年度政務活動費収支報告書

氏名 村松 一徳

- 1 収入  
政務活動費 120,000円
- 2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費		
研修費	8,050	研修会参加費
広報費	79,145	報告書作成費
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	33,000	教育新聞購読料
合計	120,195	

- 3 残額 0円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。  
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。



政務活動費出納簿

議員名

村松一徳

整理番号	年月日	内容	収入	支出	経費項目別内訳								残額	備考		
					調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費				
0	2025.4.30	政務活動費(年間)	120,000												120,000	令和7年度支給
1	2025.5.29	広報費 印刷代 村松かずのり 町政報告書 (株) 豊橋写植		69,036			69,036								50,964	1200部
	2025.5.29	広報費 印刷代 村松かずのり 町政報告書増刷		6,380			6,380								44,584	200部
2	2025.5.15	広報費(新聞折込) (有) エス・アンド・エー		2,640			2,640								41,944	田口・清嶺
	2025.5.15	広報費(新聞折込) 加藤新聞店		1,089			1,089								40,855	津具(名倉; 領収書なし)
3	2025.7.8	資料購入費 日本教育新聞 購読料		33,000								33,000			7,855	
4	2025.10.15	研修会参加費 (公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		8,050			8,050								-195	
		累計	120,000	120,195			79,145								0	返金額

※ 年月日は、収支事実のあった年月日を記載する。

※ 内容欄には、政務活動が特定できるように、年月日、場所、活動内容が明確になるように記載する。

※ 按分した場合は、按分率を備考欄に記載する。

## 支払証明書

整理 番号	支払年月日	政務活動費 充当額	支払先	経費 項目	経費内容	備考
1	2025.5.29	69,036	(株) 豊橋写植	広報費	町政報告書	1,200部
	2025.5.29	6,380	(株) 豊橋写植	広報費	町政報告書増刷	200部
2	2025.5.15	2,640	(有) エヌ・アンド・エー	広報費	配付依頼先 (新聞折込)	田口・ 清嶺地区
	2025.5.15	1,089	加藤新聞店	広報費	配付依頼先 (新聞折込)	津具地区
3	2025.7.8	33,000	(株) 日本教育新聞社	資料 購入費	購読期間 (年間) 2025年4月～2026年3月	
4	2025.10.15	8,050	(財) 全国市町村研修財団	研修費	受講料 (2日間)	参照：出 納補助簿
		120,195				

※ 「整理番号」については、出納簿の整理番号と一致させること。

※ 按分により政務活動費を充当した場合は、「備考」欄に、支払総額及び按分率を記載すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和8年4月13日

議員名 村松一徳

# 政務活動費町外活動報告書

議員名：村松 一徳

整理番号

活動概要

4 日程 令和7年10月20日(月)～令和7年10月21(火) 1泊2日

訪問先及び所在地 滋賀県大津市唐崎2-13-1 全国市町村国際文化研修所

目的・内容・成果等

○研修名 令和7年度市町村議会議員研修[2日間コース]  
議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

## 1 目的

①議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など）について学ぶ。②議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通して理解を深める。③ダイアログ（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議会間討議の進め方を学ぶ。

## 2 内容

### (1)【講義・質疑応答】地方議会に期待する

（早稲田大学 名誉教授 北側正恭 氏）

『うちの議会はこんなもんだからの脱却』『中央集権時代の思い込みからの脱却』

⇒議会の役割は、監視機能との思い込みからの脱却をする

⇒独任制の執行部と合議制の議会の関係

国と地方は対等・協力、議会基本条例の制定、議会事務局を含めたチーム議会、

定数削減は改革とはいえない⇒質的充実を目指すことが大事

改革の進んでいない議会ほど改革が進んでいるとの思い込み

全国先進事例（西脇市議会⇒議会報告会を45回実施

墨田区議会⇒議会基本条例、大津市議会⇒災害時の議会開催、取手市議会⇒専決処分を無くす）

A I時代⇒役場役所へ出向くことなし。ポスターのない役場。

### (2)【講義】「議会改革度調査」から見る地方議会

（早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長 中村健 氏）

①消滅公務員の現場が拡大している。（危機感を持つこと）

②住民は政治に何を期待しているか。（住民に納得感を醸成すること）

⇒議会の支援策とは 住民と対話→調査研究→解決策→住民と共有

### (3)【事例紹介・演習】住民参加・情報公開を進める取組①②

（石川県加賀市議会 副議長 上田朋和 氏）

（奈良県王寺町議会 議会事務局議事庶務係長 村田大地 氏）

（コーディネーター 中村健氏）

・議会基本条例（h23）制定し、議会HP見やすく、ユーチューブ広報番組、

多様多彩な議会改革（成果検証、議会おでかけトーク、議会お出かけ教室、モニター制度、ファシリティ研修、視察回数増、女性参画の方策、オンライン会議、議会図書館の充実、議会傍聴の工夫等） 講師の村田氏は、町広報だより担当から議会だより担当に部署替えになった事務局員。自治体広報誌：全国1位を獲得した人。改善ポイントの詳細な説明あり。

#### （４）【演習】各議会における今後の議会改革推進の検討

（早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長 中村健 氏）

##### 読まれる議会だよりにしよう！

- ・ 広報スキルを磨くより伝わるものへ  
⇒読んでみたくなる紙面は0.3秒で決まる。
- ・ 議会だよりは住民参加で見える化  
⇒脱報告書、住民の声を紹介、専門家の助言を聞き入れる。
- ・ その他としてモニター員制度の導入、ウェブアンケート実施、事務局員は編集者、ユニバーサルデザインの採用、議員でなく一般有権者が作成する、
- ・ 議会だよりは結果報告中心だが、今後の予定を入れる事も必要である。

### 3 成果

- （１）議会改革のポイントは、「従前から脱却（意識改革）」から始めること。
- （２）先進事例の「議会広報を考える」グループワークが大変参考になった。今後の議会だよりの作成に生かせる内容であった。学んだことを行動に移すのみである。議会だよりの編集に多くの時間を費やすことができる体制づくりも急務である。
- （３）議会だよりをより魅力的にするためには
  - ①町民参加型②明確なテーマ設定③イラストの統一感
  - ④人物を乗せたコーナーづくり⑤QRコード、写真、ライブ映像⑥横組みの活用
  - ⑦未来の予定を掲載⑧行政用語には解説フォローを入れる以上の点を本町議会でも取り入れるとよいと感じた。

※早稲田大学デモクラシー創造研究所：Maniken.jp（創設11年目）参照

# 設楽町議会議員 村松かずのり 町政報告

No.1

2025  
(R7).5.17



2023年(令和5年)5月から町議会に送っていただき2年経過しました。初当選後の2023年(令和5年)6月議会の一般質問(第1回目)を皮切りに、2年間で8回の一般質問をさせていただきました。町民の皆様からの負託を受け、その責務を感じながらも、質問の機会を与えて頂けることに感謝しています。将来の町政の活性化のために引き続き奮闘する覚悟です。これからも皆様の忌憚のないご意見、ご要望をお気軽に寄せていただければ幸いです。

## 2年間の一般質問の概要

※議会質疑の詳細は、町HP議会報告を参照してください。



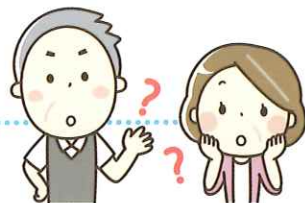
### ●2023年度(令和5年度)

#### 質問1 閉校後の津具中学校・田峯小学校の跡地利用は？

**回答** 土砂災害指定区域内の建物は、一定の制限がある。

**現在** 田峯小は「したらワークス事務所」として地域おこし協力隊活動場所。津具中講堂等は津具小学校が使用中。それ以外の利用は未定。

町HPは  
コチラ



#### 質問2 ①スポーツ振興 合併20周年スポーツ大会開催を

**回答** 住民の機運が高まれば検討。 **現在** 開催の動きはなし。

#### ②埋蔵文化財(県史跡第1号:鞍船遺跡)の保存と管理を

**回答** 「保存は現状維持以外の選択肢なし」(財再負担が増大理由)

#### 質問3 ①WRCの総括・評価と次期開催は？

**回答** 町の魅力を発信できている。独自色は主催者でないため困難。

**現在** 豊田市・恵那市主催で開催し、設楽町会場も継続中。

#### ②ごみ出し支援の充実を

**回答** ごみ分別アプリ「さんあーる」を北設楽郡でも導入検討する。

**現在** 「さんあーる」郡内3町村で導入済。(活用促進を期待!)



「さんあーる」  
アプリは  
コチラ



#### 質問4 ①中学生(子ども・若者)議会の開催を

**回答** 学校現場への負担増である。町としては開催の意思は持ち続けている。

**現在** 中学3年生の議会傍聴。町長、教育長のスクールミーティングを開催している。

#### ②小中学校給食費の半額助成から全額助成を

**回答** 令和6年度より小学校300円、中学校350円に値上げ。何とか半額助成を確保。新たな財源があれば見直す。無償化では623万円の不足。



### ●2024年度(令和6年度)

#### 質問5 「有害鳥獣害対策強化」を

**回答** 被害は増加中。電気柵設置(一部)・狩猟免許取得補助(全額)。約2600万円の奨励金を拠出し、国や県にも対策を依頼している。

## 質問6 行政サービスを低下させない施策を

### ①津具地区「のってかっせ」の町内全域へ

回答▶ 町内タクシー事業者との協議が必要で困難。

### ②食料品店空白地の移動スーパーは？

回答▶ 町主体は困難。静岡県の業者が移動スーパー実施中（週1回）

### ③津具総合支所の宿日直廃止による利用制限は？

回答▶ 支所での休日及び夜間会議室利用はできない。他の施設利用を勧める。

### ④保育園統合の今後のビジョンは？

回答▶ 将来の1園化を目指す。未満児は園児2名に対し保育士1名が必要である。保育士不足は続く。



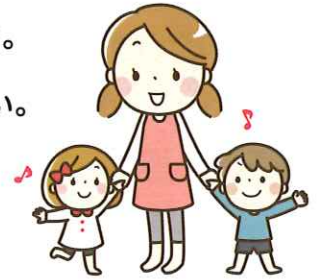
## 質問7 ①保育士配置基準等の見直しを問う

回答▶ 令和7年度は4園から3園へ。分園は統合した園との平等性が保たれなくなる。園児10名を下回ると運営が難しい。1町1園構想は変わらない。（町長）強引な統合は進めてはいない。保育補助員は保育士にカウントされない。

### ②小中卒業生への教育評価実施を

回答▶ 令和9年度からの次期教育振興計画策定の折に検討する。

現在▶ 中学3年生の海外研修の復活（R7 ニュージーランド（ファームステイ））



## 質問8 ①積雪時の道路除雪作業の要望

回答▶ 重機不足、人員不足ため現状が精一杯。融雪剤散布で効果をかめながら対応している。

### ②伝統芸能文化の継承と支援を

回答▶ 地域の伝統芸能には、従来どおり「行政は口を挟まない」という立場は変わらない。

## 令和7年度：設楽町予算を家計簿として算出してみると！

※家計簿の収支にたとえ 1人当たりの概算（町民4,000人で一律に割って算出した数値）

収入(合計)	246万円	支出(合計)	246万円
給与収入(町税)	20万円	食費(人件費)	25万円
親からの援助Ⅰ(国交付税)	76万円	医療費・教育費(扶助費)	8万円
		住宅・車のローン返済(公債費)	18万円
親からの援助Ⅱ(県支出金)	29万円	光熱水費・消耗品(物件費・維持補修費)	36万円
		交際費(補助費)	33万円
手当・家賃収入(雑収入・使用料)	26万円	住宅のリフォームなど(投機的経費)	13万円
ローン借り入れ(町債)	13万円	こどもへの仕送り・貯金(繰出金など)	31万円
特別会計(国保・後期高齢者医療)	22万円	特別会計(国保・後期高齢者医療)	22万円
事業会計(上下水道)	60万円	事業会計(上下水道)	60万円

## 今後の行事予定

- 10月 4日(土) 設楽町合併20周年記念行事
- 10月19日(日) 設楽町長選挙

